

COC+ 特別講義

分析技術者の立場で農薬リスクを科学する

～宮崎産農産物の残留農薬の実態を踏まえて～

演者： 安藤 孝 先生

(一般社団法人 食の安全分析センター)

日時： 7月20日 (木) 4限 (14:55-16:25)

場所： 7号棟2階 講義室34

食品の安全性が求められる中、消費者は、特に残留農薬に不安を抱く傾向にある。だが、20年以上にわたり残留農薬試験をしてきた分析技術者の立場から言うと、“農薬は危険だが、残留農薬は心配する必要はない”。

本講義では、農薬分析の原理、次世代分析装置の開発、そして最新の分析技術をどう農業現場に生かしていくかを紹介し、宮崎産農産物の残留農薬の実態を交えながら、農薬リスクについて一緒に考えたい。

- 薬学科4年生 および COC+コンテンツ受講者 は**必ず出席**してください。
- その他の学生の出席も歓迎いたします。
- 一般の方は事前に以下までお電話でお申し込みをお願いいたします。

本件に関する問い合わせ先

九州保健福祉大学 みやざきCOC+ 磯田 (080-8561-7009)